

新型コロナウイルス感染防止対策チェック表

各地区大会において、すでに感染症防止対策を実施していただいていると思いますが、チェックリストを確認及び活用し、更なる感染症予防対策の徹底をお願いします。

- 県・各市町村が発出する新型コロナウイルス感染予防対策に従い行動をする
- 換気の悪い「密閉」空間を避けるため、こまめに換気をする。
- 多くの人が集まる「密集」空間を避ける
- 間近で会話や発声をする「密接」場面を作らように人との距離を確保する
- 保護者の中から感染対策責任者を決め、手指消毒や会話の制限等についてチーム内に積極的に促す。
- 原則、参加チーム数は、「使用するコート×4チーム」とする。但し、上限チーム数を超える場合は、感染対策を強化する。
- 大会には選手12名、ベンチスタッフ3名、保護者等12名の計27名を上限とし申込者のみの入場とする。
- 大会入場予定者の開催日から直近14日間の個人検温を記録し、大会当日朝に確認する。37.5℃以上の熱が記録された場合は、入場を取りやめる。
- チェックシートに開催日当日の入場予定者の検温結果を記入し受付に提出する
- ベンチスタッフおよび観戦者はマスクを着用し、大声はできるだけ出さないようにする。
- 観戦者による応援は、メガホンや鳴り物の使用を行わないものとし、拍手等による応援とする。
- 選手は、試合以外ではマスクを着用する。ベンチ控え選手は着用しなくてもよいものとする。
- 選手間のあいさつは一礼とし、握手は行わない。
- 線審のフラッグは試合ごとに持ち手を消毒する。
- ボールは、記録席において適宜消毒を行う。
- 各チームで消毒液を持参する
- 審判員は電子ホイッスルを推奨する
- 開閉会式は行わない
- ドアノブ、手すり等こまめに消毒する。
- タオル、ボトルの共有を禁止する。
- こまめな水分補給に心がけ、熱中症対策を講じる。
- 昼食時は選手同士の距離を空け、静かに食べる。
- 新型コロナウイルス感染防止のために主催者の指示に従う
- 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、速やかに主催者に報告する。
- ごみは、各チームで持ち帰る。
- 上記事項は、チーム、スタッフだけでなく、審判及び役員も同様とする。